

平成29年

新年を迎えて

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、新春をおだやかに迎えることと存じます。

昨年を振り返りますと、夏にはスポーツで大いに盛り上がり、本市において行われた全国高等学校総合体育大会柔道競技では、連日熱戦が繰り広げられました。また、リオデジャネイロパラリンピックでの三木拓也選手の活躍、出雲高校野球部の甲子園初出場をはじめ、本市に縁のある多くの若者が大舞台で活躍され、夢と希望と大きな感動を届けていただきました。

一方で、4月に熊本地震、10月には鳥取県中部地震など各地で大きな災害が起きた一年でもありました。被災地支援のため、職員派遣等に取り組みましたが、甚大な被害を受けられた方々に心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を願っています。

さて、平成27年10月に実施された国勢調査の結果において、出雲市では、5年前の調査時の人口と比べ453人の増加となり、県内自治体では唯一の人口増加となりました。定住促進の取組や「出雲」というブランドをしっかりとアピールしたこ

とで、出雲の暮らしやすさが総合的に

評価されてきた成果と受け止めています。

しかしながら、高校・大学卒業後の就職先については、依然として県外に出る方が多数であることから、今後、安心して働ける職場、学んだことが生かせる職場をどれだけ多く創出できるかが、地方創生の最も大きな鍵になるのではないかと考えています。一昨年策定しました「出雲市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、引き続き人口減少対策に力を注いでいかなければなりません。

出雲市総合計画「出雲未来図」の策定から前期5年が、間もなく経過します。これまで実施してきました基本施策の進捗状況を十分に検証、評価し、その結果を後期基本計画に反映させ、着実に本市の将来像「げんき、やさしさ、しあわせあふれる縁結びのまち 出雲」の実現に取り組んでまいります。結びに、新しい年が皆さまにとりまして、健やかで実りの多い年でありますようご祈念申しあげ、年頭のごあいさつとさせていただきます。

市長 岡 秀 人
出雲市長

ミコトツキ

昨年11月23日、佐渡のトキ保護センター野生復帰ステーションからBBペアが出雲にやってきました。

BBペアは、繁殖のためのつがい、オス・メスともに7歳です。これまで出雲にいたNペアよりオスは7歳、メスは5歳若く、平成26年にペアを組みました。以降、平成27年は7個産卵し、1羽巣立ちさせ、平成28年には、10個産卵し、3羽が巣立っています。

出雲に来た当初は環境が変わったせいで周りの音などに反応し、飛び回ったりしてとても神経質でしたが、今はだんだん慣れてきています。

出雲では、このBBペアに加え、AFペア、AKペアの3組で繁殖に取り組んでいます。今年は3ペアで4羽以上の巣立ちをめざしています。

第29回



今年も西年です。出雲生まれのトキが、これまで以上に佐渡島で野生復帰することを願っています。



出雲に到着した初日のBBペア(左がオス、右がメス)

おたずね / 出雲市

トキ分散飼育センター

☎2013550

OH! 地産地消コーナー まいがな出雲!

Vol.10 若い力で復活

地元でとれる食材のおいしさを再発見してもらい、積極的に消費してもらいたい! 地元食材や生産者に親しみをもってもらう、地域への愛着を深めてもらいたい! との思いで、毎月いろいろなお届けします。

今月の担当 農業振興課 ☎21-6557

◎平均年齢30代!

高齢化が進む農業分野ですが、市内には、なんと平均年齢が30代という若い生産組合があります。それは、JAしまね出雲大根生産組合。現在は神西地区を中心に、11人の組合員が約2.5haで生産をしています。今回は、組合長で、生産面積の約半分を手掛ける岡康之さん(33)にお話を聞きました。



組合長の岡康之さん

◎なぜ若い人が多いのですか?

「以前にも大根の生産組織はありましたが、高齢化で解散していました。大根は重たいので収穫作業など大変ですし…。今の組合は、個々で生産していた若手を中心に、平成27年度に5人でスタートしました。」

◎岡さんはどうして農業を?

「家が農家だったのでずっと農業をやろうと思っていて、学校で勉強したり、他の農家で研修したりしてから就農し

ました。親とは別経営で、今は大根のほかにはきゅうりやトマト、神在ねぎを作っています。」

◎どんな野菜づくりをめざしていますか?

「いつも、より良いものを作りたい!という気持ちです。自分とはとにかく農業が好きで、肥料のタイミングとか量とか、どうやったら良いものができるか研究するのが好きなんです。」

子どもの頃から農業に親しみ、畑や市場に行くのが楽しみだったという岡さん。体力的に大変な作業も、楽しさ、やりがいにつながっているそうです。頼もしいですね!

生産された大根のほとんどは地元のスーパーなどに卸されています。みなさんも旬の地元野菜をぜひ味わってくださいね。



このサイズで1本約1.2kg!